



平成29年12月12日

資料提供先：鳥取県政記者会、倉吉記者クラブ、米子市政記者クラブ

冬用タイヤ装着調査及び啓発活動を実施します ～ 安全で円滑な冬期道路交通の確保のために ～

国土交通省倉吉河川国道事務所では、雪みち走行時の冬用タイヤ等の装着を周知し、スリップ等による車両の立ち往生の防止を図るため、冬用タイヤ装着調査及び啓発活動（雪みち安全マップの配布）を実施します。

車両の立ち往生が発生すると、除雪機械による除雪が困難となるなど交通への影響は多大です。立ち往生を防止するためには、雪みち走行時の自動車の冬用タイヤ等の装着が重要です。

このため、年末交通安全県民運動期間中(12月12日～21日)に、ドライバーに広く呼び掛けるものです。

日 時：平成29年12月15日(金) 10:00～11:00
雨天決行

場 所：国道9号 なかやまパーキングさいはく だいせんちょう たなか（西伯郡大山町田中地内）

参加機関：琴浦大山警察署、琴浦町、大山町、鳥取県交通安全協会琴浦大山地区協会
琴浦大山地区安全運転管理者協議会、交通安全指導員
倉吉河川国道事務所

そ の 他：取材を希望される方は、下記問い合わせ先(担当)までご連絡下さい。
撮影等の際、車両の出入りがありますので、十分注意願います。
報道関係者の駐車については、現地誘導員の指示に従って下さい。
なお、気象状況等により中止する場合があります。

【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所

TEL:0858-26-6221(代表)

副所長(道路)

(担当)道路管理課長

(広報担当窓口)調査設計第二課長

赤星 剛(あかほし つよし)

亀井 久勝(かめい ひさかつ)

谷本 尚久(たにもと なおひさ)

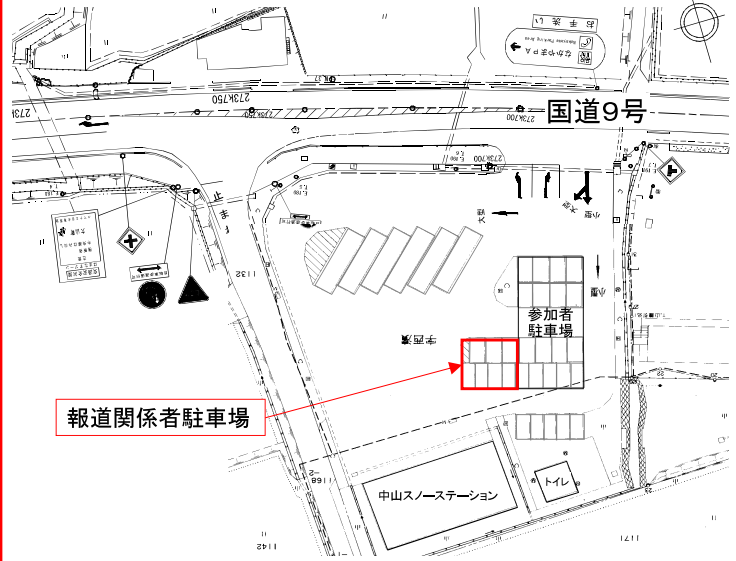
本資料は、倉吉河川国道事務所ホームページの「記者発表」でも公開しております。
倉吉河川国道事務所ホームページアドレス：<http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/>

位置図



出典：国土地理院ホームページ(<http://portal.cyberjapan.jp>)
 ※地理院地図(電子国土Web)を加工して使用しています。

なかやまパーキング (中山スノーステーション前)



昨年の実施状況



昨年の冬用タイヤ装着調査結果

	H28年度(H28.12.14)			
	全数	装着	未装着	装着率
合計	101	73	28	72%
県内車	95	67	28	71%
県外車	6	6	0	100%
大型車	0	0	0	0%
中型車	6	6	0	100%
小型車 普通車	95	67	28	71%

大型車：6.5t以上、バス30人以上
 中型車：3t以上6.5t未満、バス11人以上30人未満
 小型車：3t未満、バス10人以下
 普通車：上記以外の4輪車両(軽乗用車、軽トラ含む)
 ※駆動輪のみの装着、明らかに磨耗したタイヤを装着していた車両は、未装着としてカウントしている。



冬の鳥取を通行される皆さまへ

雪みち安全マップ

積雪または凍結状態の道路では、**全車輪に冬用タイヤの装着が必要です!**

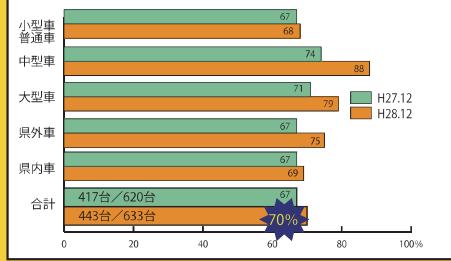


国土交通省中国地方整備局
鳥取河川国道事務所
倉吉河川国道事務所

早めに冬用タイヤ (タイヤチェーン) を装着しましょう!!

平成 28 年 12 月、鳥取と倉吉の両事務所管内 13 箇所において、冬用タイヤ装着調査及び啓発活動を実施しました。
調査の結果、装着率は 70% (調査車両 633 台中、装着車両 443 台) で、まだ 3 割の車両がまだ冬用タイヤを装着していない状況でした。
車両の立ち往生が発生すると、除雪機械による除雪が困難となるなど交通への影響は多大です。このため、**早めの冬用タイヤ等の装着**が最も重要です。

冬用タイヤ装着率調査結果



大型車: 6.5t 以上、バス 30 人以上
中型車: 3t 以上 6.5t 未満、バス 11 人以上 30 人未満
小型車: 3t 未満、バス 10 人以下
普通車: 上記以外の 4 輪車両 (軽乗用車、軽トラ含む)
※駆動輪のみの装着、明らかに摩耗したタイヤを装着していた車両は、未装着としてカウント

ノーマルタイヤ NO!



雪みちインフォメーション

出発前に道路情報をチェック!

主要道路の緊急情報

- 鳥取河川国道事務所** とうげんきょう
鳥取東部における国道9号、29号、53号、鳥取自動車道路の峠の道路情報を発信しています。
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/touge/i/index.htm>
- 倉吉河川国道事務所** 携帯電話用ホームページ
鳥取県中西部における一般国道9号の緊急情報を発信しています。
<http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/m/>
- 鳥取県** 携帯電話用ホームページ (トリネットモバイル)
主要道路の通行止めなどの情報を発信しています。
<http://mobile.pref.tottori.lg.jp/m/>
- 鳥取県** ツイッター (とりったー)
主要道路の通行止め、公共交通情報などの防災・危機管理情報をツイッターで共有・発信しています。
<http://twitter.pref.tottori.lg.jp/m/>
- 鳥取県** あんしんトリビーマール
気象情報や防災・危機管理情報をリアルタイムで配信しています。登録用メールアドレスにメールを送信し、返信メールのURLにアクセスして登録してください。
(登録用メールアドレス) e-tottori-safe@expressmail.jp
- Michi@メール**
中国地方の道路防災情報 (通行規制情報、気象情報、気象観測情報) を配信しています。登録用メールアドレスにメールを送信し、返信メールのURLにアクセスして登録してください。
(登録用メールアドレス) michi@road.cgr.mlit.go.jp
- YAHOO! JAPAN 防災速報**
緊急地震速報や豪雨予報、避難情報などをいち早く配信しています。
<http://emg.yahoo.co.jp>
- 高速道路の緊急情報**
NEXCO西日本 iHighway アイハイウェイ
高速道路の道路情報・交通情報や気象情報などを確認できるサービスです。
<http://ihighway.jp>
- 主要道路のライブ画像情報**
鳥取県 とっとり行きみちNavi
鳥取県内の道路情報やライブ画像が確認できるサービスです。
(PC用) <http://yukinavi.net/>
(携帯用) <http://yukinavi.net/>

国土交通省中国地方整備局
鳥取河川国道事務所 ☎(0857) 22-8435 (代表) <http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>
倉吉河川国道事務所 ☎(0858) 26-6221 (代表) <http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/>

冬用タイヤまたはタイヤチェーン未装着により立ち往生した車両が原因で通行止めとなった状況



法令違反です!



罰則に関すること

積雪又は凍結している道路では、滑り止めに効果のある措置を講じなくてはなりません。(道路交通法違反により罰せられる場合があります。)

- 雪みち・凍結路では、冬用タイヤ (スタッドレス等) を全車輪に装着
※冬用タイヤを装着していたとしても、接地面突出部の割合が50%以上だと罰則の対象となります。
- 必要に応じて、駆動輪にタイヤチェーンを装着

反則金: 大型車・中型車 7,000 円 普通車 6,000 円
罰 金: 5 万円以下

お出かけ前に

- 1 早めに冬用タイヤに交換し、タイヤチェーンを準備しましょう
- 2 目的地までの天気・道路状況を確認しましょう
- 3 ゆとりを持ったスケジュールを立てましょう
- 4 携帯電話は充電しておきましょう
- 5 到着時刻や走行ルートを家族や訪問先に知らせましょう
- 6 事前に自動車の点検、燃料の確認をしましょう



走行不能になったら 落ち着いて対処しよう

- 雪道で滑って走行できないときは、道路横に配置している融雪剤 (塩化ナトリウムなど) を使用しましょう。
- 上り坂の場合は、砂/毛布などを駆動輪の後ろに敷いて、ハンドルを真っ直ぐにして、少しバックしてタイヤを砂などの上に乗せてから前進することも有効です。
- 最低限の脱出をしたら、安全なところでチェーンを装着しましょう。



冬道運転では、気をつけよう!!

- 運転中も天気や道路情報板に注意しましょう。
- 下りはエンジンブレーキを活用しましょう。
- 車間距離を十分にとりましょう。
- カーブへの進入では、手前の直線区間で確実に減速を終了しましょう。
- 急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルを行わないようにしましょう。
- 視界の悪い場合は昼間でもライトを点灯しましょう。

道路情報板や凍結情報を要チェック!!



救助を求めるときは

- 後続車の追突防止のため、ハザードランプを点滅させると同時に、発煙筒を焚き、停止表示板 (三角表示板) を置く、目立つ色の布を挙げるなど、停止していることを他車に分かるようにしましょう。
- 警察やロードサービスに電話で救助を求めるときは、安全な場所で、自分の位置を正確に伝えてください。幹線国道では道路の位置が、道路幅の100m毎に設置された距離標に示してあります。



救助を待つときは

- 防寒服がある場合は羽織る、温かい飲み物を口にするなど、防寒対策をとりましょう。
- 車内の暖房は、燃料切れやバッテリーが上がらないように注意しましょう。
- 排気口が雪に埋まると、車内に排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒になる恐れがあります。マフラー付近を塞がないように除雪を行い、風下側の窓を少しだけ開けて換気しましょう。



